

愛教大生が講師役 選挙の大切さを説く

刈谷・双葉小

小学生に選挙の大切さを知ってもらう刈谷市選管主催の出前教室が十四日、同市双葉小学校であり、地元愛知教育大の学生らが講師や候補者役を務めた。

二〇二二年度から続く主権者教育事業の一環。一八年度から愛教大が協力し、本年度は四つの小学校で開催。愛教大社会科学教育講座の清田雄治特別教授（左）から政治学や法学の指導を受

ける学生らが模擬投票の公約内容を考えるなど準備してきた。

四年生の学生六人が来校し、双葉小の六年生百一人が受講。模擬投票では学生が候補者役となり、校長先生になったら実現したいことを演説した。「図書館にみんなが興味のある漫画を置きます」「毎年ギネス記録に挑戦します」などの訴えを聞いた児童たちは、本物の投票箱や記載台などを使って投票を体験。受付や投票立会人なども務め、開票作業も手伝った。